様式第１号（第１５条関係）

入　札　公　告

平成 25 年 5 月 21 日

地方自治法第 234 条第 1 項の規定に基づき、一般競争入札により物品等の請負に係る契約を締結するので、地方自治法施行令第 167 条の 6 及び勝山市契約事務規則第 7 条の規定により次のとおり公告する。

勝山市長　山　岸　正　裕

入札案件番号		4005
入札件名（物品等名）		高規格救急自動車
納入場所		勝山市消防署
物品等概要		高規格救急自動車に別紙仕様書内容の艤装を施し、仕様書内資機材を搭載する。
参考商品		なし
納入期限		平成 25 年 12 月 20 日(金)　まで
その他の契約事項		・仕様・規格を満たす物品等での入札を可能とする。(一部当本部の現場活動方針により同等品を認めない物品有り) ・当該案件は、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（昭和 39 年勝山市条例第 9 号)第 2 条に該当し落札後に仮契約を締結するものとする。この場合においては、議会の議決を得たときに限り、当該仮契約を本契約とみなす。 ・仮契約の締結後、議会の議決までの間に、仮契約を締結した契約相手方が勝山市から入札参加資格の制限又は指名停止若しくは指名除外を受けた場合は、当該仮契約を解除し、本契約を締結しないことができる。この場合においては、市は、当該契約の解除につき、一切の損害賠償の責めを負わない。
入札区分		本件物品等は、開札後に入札参加資格の有無を確認する条件付き一般競争入札事後審査型であり、郵便入札対象案件である。
入札参加条件		次に掲げる条件をいずれも満たしている者
	資格	・平成 25・26 年度勝山市物品等競争入札等参加資格者として物品等の品目が「車両類－特殊車両」で登録されていること。 ・その他の資格要件については、入札説明書のとおり。
	営業所等	福井県内に本店又は支店等を有していること。
	納入実績	公告日の過去 15 年以内に高規格救急自動車の納入実績があること。
	許可免許等	なし
	人的関係	同一の者が複数の業者の役員を兼ねている場合には、1 者のみ応札可能とし、重複して応札した場合はその全てを無効とする。
	その他	なし
入札説明書等の交付・入札書の提出	【入札説明書の交付】	勝山市ホームページからダウンロードできる。 (http://www.city.katsuyama.fukui.jp/)「入札情報」
	【入札書提出期限】	平成 25 年 5 月 28 日(火)
	【入札書提出先】	〒911-8799　勝山郵便局留
仕様書等	【閲覧期間】	公告日から平成 25 年 5 月 27 日(月)
	【閲覧場所】	勝山市民会館 2F 設計図書閲覧室
仕様書等に対する質疑等	【質問書の提出期間】	公告日から平成 25 年 5 月 24 日(金)
	【回答書の閲覧期間】	仕様書等閲覧期間内とする。
	【閲覧及び配布場所】	勝山市ホームページ又は設計図書閲覧室にて掲示
同等品の取扱		あり（一部当本部の現場活動方針により同等品を認めない物品有り）
入札参加資格確認申請書の提出	【申請書等の提出】	落札候補者は、開札日の次の日の正午までに契約担当課に提出すること。
	【申請書等の提出場所】	下記の契約担当課に同じ
開札日等	【開札日等】	平成 25 年 5 月 30 日(木)午前 9 時から随時開札
	【開札場所】	勝山市役所 3 階第 2 会議室
入札参加資格確認結果及び入札結果の通知		参加資格確認後、落札者決定通知書により通知する。
物品等担当課		勝山市長山町 2-2-27　勝山市消防署　庶務管理G　　℡ 0779-88-0400
契約担当課		勝山市元町 1-1-1　　勝山市総務部総務課　契約検査・管理防災 G　　℡ 0779-88-1116

高規格救急自動車仕様書

勝山市消防本部

第１章　　総　　則

第１　目　的

この仕様書は、勝山市消防本部（以下「消防本部」という。）が平成２５年度に導入する高規格救急自動車（高度救命処置用資機材一式を含む）（以下「救急自動車」という。）について、必要な事項を定めるものとする。

第２　関係法規の遵守

この事業は、本仕様書に定めるもののほか、道路運送車両法（昭和２６年法律第１８５号）、道路運送車両法の保安基準（昭和２６年運輸省令第６７号）、救急業務実施基準（昭和３９年自消甲教発第６号通知）および緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱等の関係法規に適合し、緊急自動車としての承認が得られるものであること。

第３　製作上の留意事項

１　製作にあたっては、全般にわたり十分な検査を施し、この仕様書を全て満たすこと。

２　救急自動車として十分な強度とバランスを有する走行安定性のよいものであること。

３　救急自動車に装備する資機材については、本仕様書に明記した機種または同等品以上の性能を有するものであること。明記されていない場合についてはメーカー標準仕様及び市販のうち性能が高いものであること。

４　本仕様書で導入する全てのものについて、新規製品であること。

５　同等品を採用する場合は、事前に諸元・性能等を明記した比較表を提出し、消防本部の承認を受けること。

第４　契約の範囲

１　契約の範囲は、許認可手続き、施工、運搬、移動及び各検査、登録に至るまでの一切とし、これらに要する費用は全て契約金額に含まれるものとする。ただし、車両登録手数料、自動車損害賠償責任保険料、自動車重量税、自動車リサイクル法に基づくリサイクル料金については別途消防本部が負担する。

２　引渡後は、直ちに末梢登録申請を行い、処理に応じた証明書の写しを提出することとし、廃車手数料については別途消防本部が負担する。

第５　製作上の注意

１　受注者は、消防本部において提出図書の審査を受け、承認を受けた後でなければ製作してはならない。

２　本仕様書に明記されていないものは消防本部と十分協議のうえ製作すること。

３　受注者は、受注後における標準仕様の変更、本仕様書における疑義または変更が生じた

ときは、消防本部の指示を受けること。

第６　提出図書等

１　受注後、製作に先立ち次に掲げる関係図書各３部（１部返却用）を提出し、消防本部の承認を得ること。

（１）　全艤装図（外観５面図とし、正面・右・左・上面・後面）
（２）　主要諸元表
（３）　車体骨組図
（４）　室内配置図
（５）　電気配線図（シャシ関係・艤装関係）
（６）　室内配置図
（７）　無線機関係取付概要図
（８）　酸素等配管図
（９）　資機材収納庫等の製作図および取付図
(10)　電装品および室内設備等の取付図
(11)　取付品および積載品の一覧および製作図（カタログ等）
(12)　冷暖房装置関係図
(13)　その他消防本部が指示したもの

２　受注者は、消防本部が承認後１０日以内に製作工程表を２部提出すること。

３　納入に際し、次の図書等を提出すること。

（１）	完成図（最終艤装５面図・電気配線図）	３部
（２）	改造自動車等届出書	３部
（３）	自動車整備記録簿	１部
（４）	緊急自動車指定・届出確認証	１部
（５）	自動車取扱説明書および付属品一覧表	各１部
（６）	高度救命処置用資機材諸元表および取扱説明書	１部
（７）	付属品、積載品および装備品等取扱説明書	１部
（８）	外注先一覧表	２部
	(積載および取付品の品名、数量、会社名、電話番号等を記入したもの)	
（９）	車両および積載品の詳細写真	３部
(10)	製作工程時に日付入り写真を撮影し、電子媒体化したもの)	１部
(11)	自動車検査証およびその写し	各１部
(12)	使用電球及び使用ヒューズ一覧表	各１部
(13)	消防本部の指示するもの	

第７　検査

１　中間検査

消防本部が指定する時期に受けるものとする。その際、事前に検査日時および場所等を記載した検査願書を提出し、承認を受けること。

２　納入検査

納入時に、各装備品及び積載品が全て指定した場所に設置、積載された状態で受けるものとする。その際、上記１と同様、事前に検査日時、場所等を記載した検査願書を提出し、承認を受けること。又、全般にわたり点検整備を実施し、燃料を満量にして納入すること。

納入検査は、この仕様書および受注者提出の関係書類等に基づき検収を行い、その合格をもって納入と認める。ただし、その全部または一部が仕様書を満たしていないと発注者が認めた場合には、受注者は早急に改修し再検収を受けなければならない。

第８　保証期間

保証期間は、納入後１２ケ月とする。ただし、塗装、メッキについては２４ケ月、また、受注者が１２ケ月以上の保証指定するものについてはその期間とする。なお、保証期間経過後においても、艤装および使用資機材等に構造上の不備欠陥が生じた場合は、受注者の責任においてすみやかに修理もしくは交換し、それに要した一切の経費は受注者が負担するものとする。

第９　納入期限等

平成２５年１２月２０日とする。

納入場所は勝山市消防本部とする。

第２章　　車　　両

第１　一般事項

１　主要緒元および主要装備については、救急自動車として認定を受けたものであり、本仕様書において指定したもの以外は車両メーカーの最新の公表によるものとする。

２　車体の構造は、堅牢で耐久性が十分であること。

３　各装備品及び積載品を積載された状態で前後左右のバランスを調整し、低重心化を充分考慮して製作すること。必要に応じてリアスプリングの主バネおよび補助バネを強化すること。

第２　主要諸元

１	駆動方式	フルタイム４WD
２	乗車定員	７名以上
３	使用燃料	無鉛ガソリン
４	ミッション	電子制御式４速オートマチック以上
５	タイヤ	ラジアルタイヤ（センターキャップ付き） ホイールについては車両総重量に十分耐え得るものとする。

第３　車両整備

１　次のものを装備すること。

（１）　ディスチャージヘッドランプ

（２）　フォグランプ（フロント・リヤ）

（３）　パワーステアリング

（４）　ＳＲＳエアバッグ（運転席・助手席）

（５）　ＡＢＳ（アンチロックブレーキシステム）

（６）　デュアルエアコン
（７）　自動式ドア開閉装置（安全機構付き、スライドドアおよびバックドア）
（８）　キーレスエントリーシステム。なお、エンジン作動中においても車外よりロック操作可能であること。予備キーはリモコン付１個、リモコンなし２個を付属すること。
（９）　サイドバイザー（運転席・助手席）
(10)　寒冷地仕様とすること。

２　車両付属品
（１）　スタッドレスタイヤ４本（ブリヂストン製、ホイール付）
（２）　非金属性タイヤチェーン４本
（３）　ゴム製フロアマット（運転席、助手席）
（４）　三角停止表示板
（５）　ゴム製車輪止め（２個１組）

第４　艤装

１　一般事項
（１）　各装置の取付けは、全てにおいて点検補修を考慮し、ステンレス製のボルト・ナット等により取付け、容易に脱着できるものとすること。また、運行上緩みや雨水等の浸水がないように確実丁寧に取付けること。
（２）　シャシー、ボディー裏側部分等、ボディー内側部分、その他必要に応じ防錆処理を施すこと。
（３）　電装品および無線関係の配線は十分な余裕を確保し、天井および側板内等に敷設すること。(所要の箇所には点検口を設けケーブル類はフレキシブルチューブを有効に用いること。)
（４）　バッテリー収納部は、上部から点検可能で、取替が容易に行うことができる構造とし、発生した水素ガスが救急自動車内に滞留しないようにすること。
（５）　各種スイッチ類は、操作回数を可能な限り少なくすること。また、救急隊員が確実、容易に操作できる位置にできるだけ集中させて設け、美観にも十分配慮すること。各々のスイッチには名称およびＯＮ／ＯＦＦの確認が出来る表示を設け、夜間においても視認性に優れた蛍スイッチ等を設置すること
（６）　製作にあたっては、救急隊員の業務遂行に支障をきたさないものであるとともに移動空間の確保に努めること。
（７）　盗難防止のため、誤発進防止装置を取り付けること。
（８）　必要に応じてリアスプリングの主ばね及び補助ばねを強化すること。

２　電装品
（１）　オルタネーターおよびバッテリーは、全ての設置機器を使用した場合でも十分な余裕を確保すること。
（２）　電流計および電圧計を運転席から容易に確認できる位置に取付けること。
（３）　後退警報ブザー（音声合成）を取付け、運転席計器盤にスイッチを設けること。スイッチはＯＦＦスイッチとすること。
（４）　各電装関係のスイッチには名板を取り付けること。
（５）　赤色警光灯及び赤色点滅灯

ア　車両前部の屋根および車両後部の屋根にビルトインタイプのLED式大型赤色警光灯を取付けること。

イ　車両前部の大型赤色警光灯内部にはLED赤色灯（パトライト　LAS-M1）を３灯増設すること。

ウ　フロントバンパー上に赤色点滅灯（大阪サイレン　LF-11D）を２個取付けること。

エ　車両前後の上部左右側面にLED赤色点滅灯を取付けること。（大阪サイレン　LF-12）

オ　バックドア解放時に後方から視認可能なLED赤色点滅灯を患者室内に取付けること。なお、バックドアの開閉に連動するスイッチを設けること。

カ　上記ア、エ、オについては、後部ハッチを開放した状態においても後方から容易に視認できるよう取付けること。

キ　上記ア～エのスイッチについては運転室内に設け、１個のスイッチで全てがＯＮ・ＯＦＦすることができるとともに、作動確認用のパイロットランプを設けること。

（6）　サイレン関係

ア　電子サイレンアンプ（大阪サイレンMK10　OPS-5101VQ）をダッシュパネルに埋め込み、専用ハンドマイクを取付けること。また、後部バンパー内側に音声合成専用スピーカーを取付けること

イ　電子サイレンアンプはテスト装置機能付音声合成装置内蔵のもので、赤色警光灯および赤色点滅灯と連動して動作すること。また、音声合成メッセージの運転操作自動連動がＯＮ・ＯＦＦ可能であること。

ウ　電子サイレン音スイッチ（プッシュ式）を中央パネルおよび運転席右側に設けること。

エ　音声メッセージスイッチ（プッシュ式）を中央パネルおよび運転席左側に設けること。

オ　モーターサイレン（大阪サイレン 5SA）をフロントバンパー内側に設置すること。スイッチ（プッシュ式）を中央パネル及び運転席左下に取付けること。

（7）　照明灯関係

ア　ディスチャージ式ヘッドランプを取付けること。

イ　フォグランプを取付けること。

ウ　方向指示器と連動するサイドフラッシャーランプをフロントドア上部ルーフサイドまたはドアミラー（一体型）左右に取付けること。

エ　左右後輪が確認しやすい照度（約２５W以上）を有する路肩灯をスモールライト連動で取付けること。

オ　車両外部側面上部に左右２個ずつＬＥＤ式作業灯（大阪サイレンLF-21）を取り付けること。スイッチは運転室から操作可能な位置に設け、走行前に確実に消灯できる機構を設けること。

カ　助手席のフロントピラーにプッシュ式スイッチ一体のLEDマップランプを取付けること。

キ　患者室内に、隊員の業務遂行に支障のない照度を有する蛍光灯および患者灯を設け、調光器およびスイッチを患者室内に設けること。

ク　患者室後部の下部にはハンドサーチライト用のコンセントを設けること。サーチライトは、コード付（コイル式）で磁石式金具を有し、照度５５W以上又はＬＥＤ

式で同等の性能を有するものとすること。

ケ　バックドア内側上部にスポットライト(任意に照射方向を変えること)を設け、その付近にスイッチを設けること。

コ　フロントバンパー内にデイライトを左右１個づつ取り付けること。スイッチはＡＣＣ連動とすること。

（8）　空調関係

ア　冷暖房装置については、運転席および患者室をそれぞれ個別に冷暖房調整できるものであること。

イ　換気設備は、静音で救急自動車内の空気を効率よく車外に排出する大型換気扇とすること。なお、風量調整が可能なスイッチ及び着脱可能なフィルターを取り付けること。

（9）　電源関係

ア　各種のコンセントの取付部に電源種別および規格電圧、最大供給電力量を明示すること。

イ　エンジンの回転中にＡＣ１００Ｖの電源供給ができるインバーター（全てのＡＣ１００Ｖ資機材に電源を供給できる能力以上を有するもの）を設けること。

ウ　患者室内にＡＣ１００Ｖ用のコンセントを必要数設けること。

エ　ＤＣ１２Ｖ用シガレット型コンセントを３個以上設け、携帯電話および吸引器等に充電が可能な位置に設置すること。

オ　外部入力電源接続用コンセント（マグネット式１００Ｖ）から患者室内へ１２Ｖおよび１００Ｖの全ての機器およびコンセントに供給できる構造とすること。(専用コード１０m付)

なお、接続中にエンジンを始動しても、安全装置が作動し、機器等障害が起きないようにすること。

オ　上記の外部入力電源用コンセントからバッテリーに容易に充電することができる機器を設置すること。

カ　救急自動車がアイドリング時に、電圧が一定となるようにアイドルアップ装置を設けること。

キ　患者室のＡＣ１００Ｖコンセントは接地極付コンセントを使用すること。

３　運転室内設備

（1）　運転席左右ドアの内側にドアポケットを取付けること。

（2）　ヘルメット固定用のフック、ネットを運転席、助手席後部及び患者室内パーテーション上部に各１個づつ取付けること。なお、ヘルメット重量に十分耐えられ落下しにくく、容易に取り出しが可能なものとすること。

（3）　ルームミラーは２段式（又は同等品）とする。(運転席・助手席)

（4）　最新の地図情報を搭載したＨＤＤカーナビゲーションを運転席において視認しやすい位置に取付けること。また、走行中も操作ができる仕様とすること。

（5）　カーナビゲーション連動のバックアイカメラを取付けること。バックアイカメラは変速機と連動し作動するものとする。

（6）　アンテナ・本体分離型ナビ連動ＥＴＣを取付けること。また、セットアップを併せて行うこと。

（7）　運転席から視認しやすい位置にデジタル電波時計を取付けること。
（8）　運転席後部にＡ３サイズの地図等が入る書類入を取付けること。
（9）　運転室から、患者室へ通り抜け可能なウォークスルーとすること。
(10)　運転席および助手席にサンバイザーを取付けること。
(11)　助手席後部にパーティションを設けること。
(12)　ドライブレコーダー（カーナビゲーション接続）を取付けること。また、記録した画像をナビモニターで確認できるよう接続すること。

4　患者室内設備
（1）　フロア
濡れていても滑りにくい材質で、水洗い等に耐える十分な防水処理を施すこと。
（2）　座席
ア　患者室には、横向き２人掛けシート、前向き１人掛けシート、後ろ向き跳ね上げ式のドクターシートを設けること。
イ　全ての座席にシートベルトが装備されていること。
ウ　全ての座席に白色の防水シートカバーを装着すること。
エ　２人掛けシートの下部は資機材が収納できる構造とし、フロアを水洗いしたときに入水または溜水しない構造とする。
（3）　メインストレッチャ―および固定用架台装置
ア　メインストレッチャ―はファーノ製（ＴＣ－４０８０Ｓ）とし、傷病者固定用ベルト、予備ベルト２本、枕、サイドパッド、ＩＶポール２本および脱着式ストレッチャートレイ１個を付属すること。
イ　固定用架台装置は、防振ベッドとし、メインストレッチャーに適合する最新式のものとすること。また、メインストレッチャ―を確実に固定できるとともに､容易に取り出しのできる構造とすること。
ウ 防振ベッドは、最新式の磁式防振装置とし、全方向（前後、左右､上下）の振動を吸収する性能を有するとともに、左右のスライドが可能で、ＣＰＲロック機構付であること。なお、各操作スイッチはベッド前に取付けること。
（4）　サブストレッチャ―および固定装置
ア　サブストレッチャ―としてスクープストレッチャー(ファーノモデル 65ＥＸＬ)を装備すること。また、固定用ベルト３本及びヘッドイモビライザー（レッドダブル）を付属すること。
イ　２人掛けサイドシートをサブストレッチャー架台として使用した場合、確実に固定できるワンタッチ式ベルトを設けること。
ウ　スクープストレッチャーおよびバックボード専用の収容棚または、収納庫を設けること。
（5）　酸素関係
酸素吸入装置を救急活動に支障のない位置に設置、固定すること。
ア　次の物品により構成する。
（A）酸素ボンベ（１０リットル ロレットバルブ付）　２本
（B）減圧弁（ヨーク型）　２個
（C）圧力ゲージ　２個

（D）三方チーズ（高圧用）　１式
（E）酸素ホース（高圧用）　１式
（F）ヨークアダプター　１個
（G）二連式加湿流量計（オキシパックＯＸ－ＦＤＸ）　１個

イ　二連式加湿流量計（オキシパックＯＸ－ＦＤＸ）は、関係接続器全てのものと接続が可能であること。また、ジュンロン接続アダプター２ロ取付けること。

ウ　酸素用配管は、十分な耐圧力および耐腐食性能等を有するもので、内張り内に施行するとともに、振動および衝撃に耐えるものであること。

（6）　自動体外式除細動器

ア　患者室に自動体外式除細動器（日本光電TEC2513）を設置すること。

イ　専用の固定装置を用い、容易に取外しが出来るよう設置すること。

（7）　心電計

ア　右側面に観察用モニター（ベッドサイドモニタ）を取付けること。

イ　モニターはカラー液晶であること。

ウ　付近にセンサ、コード類を収納できる小物入れを設けること。

（8）　収納庫等

ア　収納庫には、扉または引き出しを取付けること。また、走行中の振動等により開放しない措置を講ずること。

イ　収納庫の内面は、収納物に損傷を与えることの無いよう、必要に応じ固定装置、緩衝材等を取り付けること。

ウ　運転席後部に縦型収納庫を設け、内部の仕切りを取外し可能な２段棚とすること。また、扉内側にネット収納を設けること。

エ　助手席後部パーテーションに縦型２段収納庫及び下部にも収納庫を設けること。

オ　患者室左右上部前後に収納棚を４個設けること。内部を上下に仕切る着脱式棚を４個設けること。

カ　右側面後部キャビネット収納庫に引き違い扉の１段脱着式棚を設置すること。

キ　右側面に引き出し式の収納を２個以上設けること。又、人工呼吸器の横に呼吸回路を収納できる収納を設けること。

ク　輸液セットを収納するボックスについては、施錠することができるものであること。

ケ　収納庫の視認しやすい位置に収容物が表示できるプレートを取り付けること。

コ　マスク、グローブ、ティッシュ等を３個以上収納できるホルダーを設けること。(取付け位置は別途指示)

（9）　その他の患者室内設備

ア　左側面ガラスの下部２／３にくもりフィルムを貼ること。また、スライドドア部以外の左側面ガラスに防炎加工されたカーテンを装備すること。

イ　右側面ガラスは内側に白色フィルムを貼ること

ウ　後部ガラスにの下部２／３にくもりフィルムを貼ること。また、防炎加工された電動カーテンを取付け、運転席、患者室から操作可能とすること。

エ　秒まで表示するデジタル電波時計を取付けること。

オ　温湿度計を取付けること。

カ　天井部にルーフネットを３か所、輸液吊り下げ具を２個取付けること。

キ　マグネット式ホワイトボード（Ａ４サイズ以上、赤・黒ペン各１付属）を後ろ向き座席上部に取付けること。
ク　患者室内にダストボックスを設けること。
ケ　前向き一人掛けシートの下に、充電式携帯投光器を２個取り付けること。(充電器、コンセントを含む)
コ　車内の揺れの際に体勢を保持するために、天井及び壁面にアシストグリップを取付けること。
サ　右側面にC型ばね付フックを３個取り付けること。
シ　右側面に取外し可能なステンレス製処置用トレイを取付けること。
ス　バックドア開口部左に乗降用大型アシストグリップを取付けること。
セ　患者室に書類入れを取付けること。

5　消防無線

（1）　１０W車載型消防無線装置（支給品）を助手席から操作しやすい位置に取付けること。又、送受話器を患者室内に取付けること。(取付け位置は別途指示)
（2）　患者室内に切替スイッチによりＯＮ／ＯＦＦができる外部スピーカーを取付けること。
（3）　消防無線機用アンテナは、スプリング付１／４ルーフトップ型を車両上部に取付けること。取付けは十分な漏水対策を行うこと。
（4）　ケーブルについては天井内張り内にフレキシブル配管等を用いて配線すること。
（5）　将来のデジタル化に容易に対応できるよう、配線等必要な措置を行うこと。
（6）　他の精密機器に影響を及ぼさないように配線等には十分留意すること。
（7）　電源配線（ヒューズ付）は、アクセサリー連動とすること。
（8）　無線障害等を防止するために、ボディーと次の箇所にアースボンディング工事を行うこと。
ア　各ドア
イ　ラジエター
ウ　エンジン
エ　オルタネーター
オ　ミッション
カ　排気管
キ　サスペンション（コイルバネは除く）
（9）　無線機移設に伴う変更許可申請等の事務手続きは受注者が全て行うこと。
呼出名称　かつやまきゅうきゅう３

6　自動車積載電話

ア　携帯電話を救急活動に支障のない位置に積載すること。
イ　携帯電話本体は、支給の携帯電話を機種変更すること。
ウ　携帯電話バッテリーは、外部入力電源接続時も充電できるよう配線すること。
エ　各機器の一覧表は、次のとおりとする。

機　器　名	数量	規　格　等	備　考

自動車積載電話	１台	ＮＴＴドコモ パナソニック製 スマートフォン	カメラ付
電話機置台	１個	走行中振動等で支障のないもの	
ヘッドセット	１個	ブルートゥース対応	ハンズフリー対応

7　その他取付け品

（1）　左サイドステップ、後部ステップ、リヤバンパーにアルミ製縞板を取り付けること。

（2）　フロントドア左右開口部（タイヤハウス上部）に樹脂製滑り止めシートを取付けること。

（3）　車体左側フロントドア上方にステンレス製の旗立てを取り付けること。また、旗立てに適合したポール、訓練旗（赤地白文字）を付属すること。

（4）　助手席側にアウトサイドミラーを取付けること。

（5）　フロントアンダーミラーを取付けること。

（6）　前後ナンバープレートに、ステンレス製のナンバー枠を取付けること。

（7）　下記のレスキューセットを車外から容易に取り出せる場所（右スライドドア内側等）に取付けること。なお、脱着が容易で振動等により損傷および落下しない措置を講ずること。

ア　バール（600mm）

イ　シートベルトカッター

ウ　万能斧

エ　ガラスカッター

オ　ベンケイ

カ　ボルトクリッパー

（8）　車両用ＡＢＣ粉末消火器（６型）を助手席後部に取り付けること。

8　塗装および車体標識関係

（1）　塗装

外装の塗装は、白色塗装とすること。

（2）　車体標識

ア　車体の赤帯は、幅７０mm のカッティングシートとし、赤帯上に夜間走行時の視認性向上のため、同じ幅の反射テープを取付けること。（フロントを除く）

イ　フロントグリル中央に樹脂等の表面加工した消防章を取付けること。

ウ　救急自動車に丸ゴシック体で下記の文字を記入すること。剥がれにくく消えにくいカッティングシートを使用すること。なお、文字の位置、大きさ等詳細については別途協議し決定すること。

位　置	文　字	文字色	備　考
両側面	別途支給のマーク＋勝山市消防本部	黒色	向って左から
後部ドア	福井県　勝山市消防本部	〃	〃
側面（上部）	ＭＥＤＩＣ　ＫＡＴＳＵＹＡＭＡ	黒色	〃
フロント部左側	福井県　勝山救急３	黒色	〃
車体天井部	勝山救急３	赤色	対空文字
車体後部（上部）	スターオブライフ	青色	

第５　救急用積載品

車両に装備するその他必要な救急用積載品および車輌付属品は次のとおりとする。

１　救急用積載品

別表のとおり

別表
救急用積載品

１搬送用資機材

品　名	規格等	数量	備　考
メインストレッチャー	ファーノ　TC4080S	１式	マットレス、傷病者固定ベルト、サイドパッド（右側)、着脱式ストレッチャートレイ（１個) Ⅳ ポール（収納型、外付け型　各１)、枕（TC902)、サイドアームリリースリンケージ（両側）予備ベルト２個　かまぼこ型枕１個
サブストレッチャー（スクープストレッチャー)	ファーノ モデル 65EXL	１式	固定ベルト、専用ヘッドイモビライザー スクープハーネス附属
バックボード	ファーノ モデル 2010	１式	専用ヘッドイモビライザー、金属製固定ベルト４本、収納バッグ付属
布担架	ターポリン担架	１式	足袋付、ベルト２本付属
ストレッチャー用架台	パックラック	１	メインストレッチャーに適合するもの

２　呼吸管理用資器材

品　名	規格等	数量	備　考
酸素ボンベ	１０L	２本	車両積載用（既存２本廃棄処分を含む) ヨーク式ロレットタイプ
	2L（アルミ製)	２本	携帯用（予備１本含む) ヨーク式ロレットタイプ
酸素呼吸器	オキシパック　OX－FDX	１式	１５L型
	減圧弁	２個	ヨーク型
	圧力ゲージ	２個	
	三方チーズ（高圧用)	１式	
	酸素ホース（高圧用)	１式	
	ヨークアダプター	１個	
酸素マスク	高濃度成人用	１０	クリア酸素フェースマスクＵ　サイド弁付
	〃　小児用	１０	クリア酸素フェースマスクＵ　サイド弁付
	中濃度成人用	１０	クリア酸素フェースマスクＵ
	〃　小児用	１０	クリア酸素フェースマスクＵ
携帯用酸素吸入装置	収納バッグ	１式	ワコー　オキシゲンキャリーバッグ　O-100
	減圧弁	１式	スピラクル　モデル 801J 減圧弁
	酸素マスク（成人・小児)	１式	クリア酸素フェースマスクＵ　サイド弁付

人工呼吸・酸素吸入装置	アンサー	１式	車両取付 標準附属品、ベンチサポートアーム、成人、小児マスク各２個、交換用ディスポ呼吸回路セット３個含む
手動式人口蘇生機	アンブ蘇生バッグ　マークⅣ　成人用	２式	成人用マスク、酸素リザーバ、収納バッグ付属
	アンブ蘇生バッグ　マークⅣ　小児用	１式	成人用マスク、酸素リザーバ、収納バッグ付属
車載用電動吸引機	レールダル LSU4000	１式	車両取付 標準付属品 ＤＣ電源コード付ウォールブラケット（１式） サイドポーチ ショルダーストラップ 予備フィルター（１０個） 予備キャニスター（１個） 予備吸引チューブ（１本） 予備フィルターチューブ（１本）
手動式吸引機	日本船舶　手動式吸引器	１式	予備吸引チューブ（１本）
自動心臓マッサージ器	ルーカス２	１式	充電器、バッテリー２、専用キャリングバック付

３気道確保用資機材

品　名	規格等	数量	備　考
経口エアウェイ	バーマン氏	６	大、中、小　各２
経鼻エアウェイ		８	6.0、7.0、8.0、9.0　各２
ラリンゲアルチューブ	サクションディスポ LTS-D	１０	サイズ４、５号　各５本
気管挿管チューブ	ポーテックス（ソフトカフ）	２０	6.5、7.5　各 10 本
気管内挿管用スタイレット		１０	中　シングルユース
シリンジ	10 cc	１箱	
トーマスチューブホルダー		５	成人用
気管内吸引チューブ	閉鎖式サクションシステム　サクションプロ	１０	12Fr
呼気終末炭酸ガス検出器イージーキャップ		１箱	６個入り
食道挿管判定器具　エアウェイチェッカー	アンブバルブモデル	４個	
開口器	ハイステル氏	１個	
バイトブロック		２式	大中小３個セット

気道確保セット	日本船舶　気道確保セット	１式	モデル 5115 インチベーションミニキット、マギール鉗子（大・小）、舌鉗子（コラン氏）、スタイレット（大）、KAWE　LED 喉頭鏡５本セット、トーマスチューブホルダー（成人）２
喉頭鏡セット	KAWE　LED 喉頭鏡５本セット	１式	
ステンレス角面器		２	A4 サイズ程度、深さ 3cm 程度
収納バッグ	日本船舶モデル５１３０	１	インチュベーションウルトラミニキット

４　固定用資機材

品　名	規格等	数量	備　考
減圧固定具	バキュームスプリント	１	部分固定セット WVS-7700 小児用マットセット　WVS-8000
固定用シーネ	ソフトシーネ	６	L、M、SS、各２
頚部固定用副子	スティフセックセレクト	１０	成人用・小児用　各５
ロール型副木	サムスプリント	２	

５　感染防止用資器材

品　名	規格等	数量	備　考
ビニールシーツ		１	ストレッチャー用
ディスポシーツ	日本船舶薬品	I	100cm×100m
マットレスカバー	日本船舶薬品	１式	50 枚入り
化学防護服	デュポン　タイケムＦ	１５	
感染防護用フード	トランジットアイソレーションフード	１式	

６　自動体外式除細動器

品　名	規格等	数量	備　考
半自動式除細動器	日本光電 TEC2513	１式	標準附属品 バッテリパック１、SD メモリカード、CO２センサキット（挿管用）、エアウェイアダプタ、除細動レポート表示ソフト、マルチプローブ、エネルギチェッカ、電極リード線予備１
ＡＥＤ	日本光電 カルジオライフ ２１５２	１式	心電図表示機能付 ＡＥＤキャリングバック（ＹＣ-210V） 防塵防水ケース（ＹＺ－043HD） バッテリーパック１（ＮＫＰＢ２８２７１）、パッド２

7　輸液用資機材

品　名	規格等	数量	備　考
留置針　（メディキットスーパーキャス5）	２０G	１箱	５０本入り
	２２G	１箱	５０本入り
輸液ライン（テルモシュアプラグ輸液セット）	SP-PT356P02	１箱	５０セット入り
ドレッシングテープ	テガタームⅠ.V	１	７×８．５m　１００枚入り
駆血帯	井ノ内式	２本	イエロー
シリンジ	２０cc	１箱	滅菌済み
収納バック	ワコー特定行為バックセットWKS−3	１式	
静脈抽出ライト	ベインライトKOM771VE	１式	静脈確認用

8　血中酸素飽和度測定器、自動血圧計、心電計

品　名	規格等	数量	備　考
ベッドサイドモニタ	ライフスコープVS	１式	標準付属品、バッテリーパック(SB-671P)、CO2センサキット(非挿管用)、エアウェイアダプタ、フンガープローブ成人用（TL-201）小児用（TL-631T3)、ECGケーブル（10電極)、ECGケーブル（３電極)、１２誘導解析プログラム
エアウェイアダプタ	YG―111T	１箱	30入り
記録紙	FQW50-5-100	１箱	
ECG電極	ビトロードL―150	１箱	
携帯用電子血圧計	テルモ電子血圧計　エレマーノ	１式	
パルスオキシメーター（携帯用）	マシモ　Rad-57	１式	小児用クリッププローブ付
収納バッグ	日本特装NT-MRT-P10		

9　その他

品　名	規格等	数量	備　考
救命浮管	ライフボールS	2	
レスキューシート	AE−20−13−08	5	
滅菌アルミシート		2	
レスキューコアマット	AE−20−13−16	1	
聴診器	AE−20−13−08	1	
体温計	電子体温計　オムロンC-206	1	
鼓膜体温計	オムロン耳式体温計MC-510	1	交換用プローブカバー付属
はさみ	万能ハサミ	2	布～金属・ワイヤーまで切断可能なもの

検眼ライト	検眼ペンライト　プッシュ式ビームライトミニ	2	
膿盆		一式	大中小　各１
救急分娩セット	AE－20－12－71	2	
救急ベスト	V-300 メッシュタイプ	3	
収納用バッグ	WJK-1C	2	ワコー商事
潤滑ゼリー	KY ゼリー	１０	
洗眼器	ニューアイカップペット（大）	1	日本船舶薬品
タブレットＰＣ	アップル　i-pad２	1	16G、Wi-Fi３Ｇモデル、カバー付き
耐電手袋	渡辺工業高圧ゴム手袋 540UN 型	３双	大
検電チェッカ	HEV-750D	1	電気自動車用
ライフジャケット	ユニバーサルレスキュアライフジャケット	3	背面「勝山市消防本部」ネーム入り
ヘルメット	救急隊型 PU-NI-L	3	救急隊員用（白） 側面「勝山市消防本部」ネーム入り サイズ調整が容易に可能なもの 防水防塵ヘッドランプ、ゴーグル付
保護メガネ	シゲマツ	3	感染防止用
クールベスト	保冷ベスト　らっくん	3	りょうざい屋（A-MEC 株式会社）

１０車輌付属品

スタッドレスタイヤ		４本	ブリヂストン製、ホイール付
タイヤチェーン		４本	非金属性
ゴム製フロアマット		１式	運転席、助手席
三角停止表示板		1	
ゴム製車輪止め		1	２個１組

１１自動車積載電話

自動車積載電話	１台	ＮＴＴ　スマートフォン	カメラ付
電話機置台	１個	ＮＴＴ規格品	走行振動で支障の無いもの
ヘッドセット	１個	ブルートゥース	ハンズフリー対応

１２洗浄・除菌・除染資機材

品　名	規格等	数量	備　考
オゾン発生装置	オゾンガス発生機 BT-088	1	車内滅菌用 対オゾンマスク３個附属
	オゾン水発生機 BT-01	1	資器材洗浄、除菌

様式第１号（第４条関係）

〔郵便入札用〕

入　　札　　書

平成２５年　５月３０日

勝 山 市 長 殿

住　　所
商号又は名称
代表者職氏名

下記のとおり、貴市の入札条件を承諾のうえ、入札します。

１．入札金額（税抜）

金	億	千	百	十	万	千	百	十	一	円

２．入札案件番号　　Ｎｏ．　４００５

３．入札件名　　高規格救急自動車